

2024年4月1日

2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 たちかわ・財政を考える会

代表者・役職名 氏名 増田正三郎



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

自治体の課題に関する行政執行への市議会を通じた幅広い市民参加の推進(第3弾)

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

「二元代表制」にうたわれている主権者市民から負託を受けた立川市行政部門(首長)と市議会が、その負託にこたえ真に市民の為、即ち「世のため人の為」の行政運営を行うという、本来のあり方を到達目標とし、市議会の本来の役割である行政部門へのけん制機能を正しく発揮して頂く事を目的に、平成26年4月に会を設立し、会員数は、23名です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

主権者住民が首長、市議会議員に行政に関する業務遂行を委託し、その対価として納税をするという基本原理実現の為に、議会の存在意義である行政運営への牽制機能が正しく働く方向に変えることが、急務と信じ、市民が主権者としての自覚と意識とをもって、自らを選出した首長・市議が、「公益」を尺度とする「行財政運営」を実現するために、議会傍聴、「市民財政学習会」継続開催を通じて促進します。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. 「市民財政学習会」の継続開催: 別紙チラシをご参照ください。
2. 行政機関、市議会への対応: 前年までに頂いた「真如苑多摩地域市民活動公募助成」で制作した「財政白書」「財政ハンドブック」等を行政担当者、市議会議員に配布し、更にそれらをテキストとした議員を交えた「財政学習会」の議論を通じて、認識する問題点と改善方法の実行に向けてまいりました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

1. 市民財政学習会開催: 年間9回開催しました。
2. 市議会議員、市民参加の上で、自由に議論する「実務学習会」の継続開催実施中です。
3. 市民の為になる「行政、議会運営」の制度、慣習に捉われない活動、より柔軟な発想による行政課題の改善、解決に向けた事例づくりを行うことへの対応ができました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

首長と議会が、独自に主権者本位の「世のため、人のため」を基本原則として、活動するとともに、目的遂行のために、お互いを牽制しあえる、主権者が対価として支払う納税の本来の目的に添う市政運営の先駆けを目指すのだという矜持をもって、この活動を立川市から、全国に広げて参りたいと熱願しています。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。